

(06272496) 大同生命保険株式会社 様 2023年度版(2022年度実績分) 健康スコアリングレポート

* 本レポートは、2020～2022年度のデータに基づいて作成しています。

貴事業所の業態

金融・保険業

健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用する用語の定義】

「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：事業所における業態(43分類) / 「全事業所」：特定健診の対象となる被保険者数50名以上の事業所 / 「所属保険者」：被保険者数50名未満の事業所も含めて算出する所属保険者の被保険者の平均 / 「所属保険者の全事業所平均」：事業所レポート作成対象(特定健診の対象となる被保険者数50名以上)の事業所のみで算出する平均

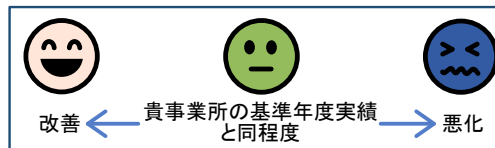
【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、事業主単位の健康スコアリングレポート活用の手引き「(参考)各指標の算出方法」(参考)事業主単位の健康スコアリングレポートにおける判定基準値表」をご参照ください。

■判定基準値(全事業所平均を100とした場合)



■判定基準値(貴事業所の基準年度実績を100とした場合)



貴事業所の特定健診・特定保健指導の実施状況

特定健診・特定保健指導

総合判定



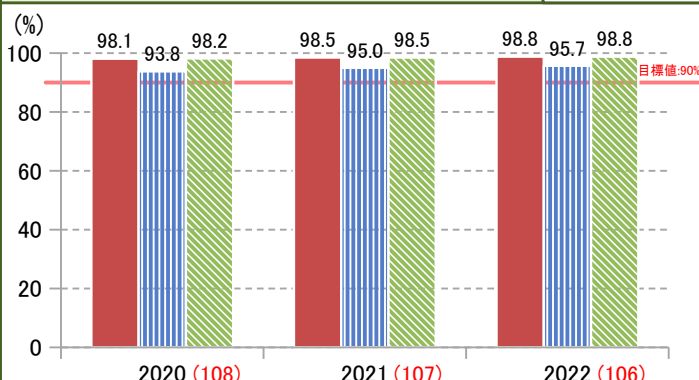
業態別順位

149位 / 896事業所

特定健診の実施率

1ランクUPまで(*1)

あと 45人

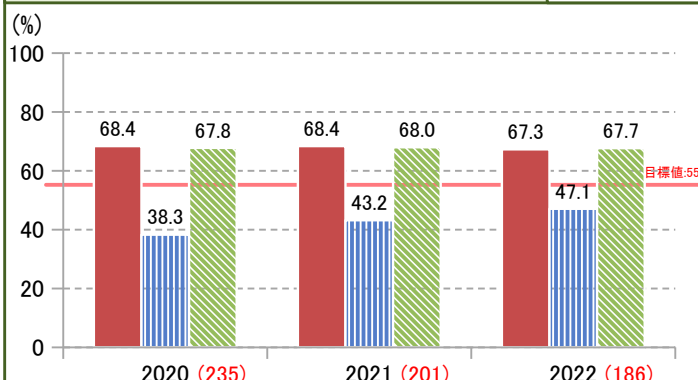


特定健診の実施率	2020	2021	2022
貴事業所	98.1%	98.5%	98.8%
業態平均	93.8%	95.0%	95.7%
所属保険者	98.2%	98.5%	98.8%

特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(*1)

最上位です



特定保健指導の実施率	2020	2021	2022
貴事業所	68.4%	68.4%	67.3%
業態平均	38.3%	43.2%	47.1%
所属保険者	67.8%	68.0%	67.7%

※ 目標値は、第3期(2018～2023年度)特定健康診査等実施計画期間における所属する保険者の種別目標。

※ 順位は、業態ごとに事業所のスコアの低い順にランキング。

※ ()内の数値は、全事業所平均を100とした際の貴事業所の相対値。

※ なお、被扶養者(家族)を含む加入者全体の目標である。

※ (*1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載

■ 貴事業所 ■ 業態平均 ■ 所属保険者

貴事業所の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)

健康状況

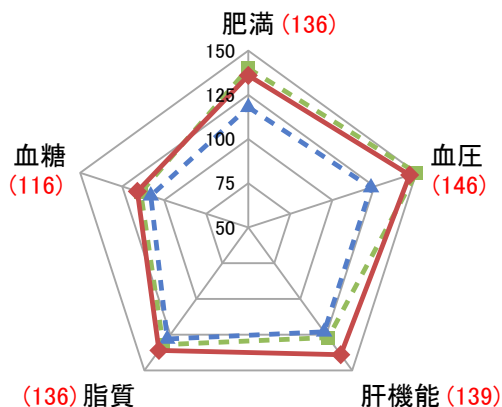
全事業所平均を100とした場合

総合判定



* 数値が高いほど、良好な状態

[全事業所平均: 100]



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化

		2020	2021	2022	
肥満	貴事業所	136	138	136	😊
	業態平均	117	117	118	
血圧	貴事業所	146	144	146	😊
	業態平均	121	124	123	
肝機能	貴事業所	147	138	139	😊
	業態平均	124	122	123	
脂質	貴事業所	142	137	136	😊
	業態平均	130	129	128	
血糖	貴事業所	112	120	116	😊
	業態平均	110	108	108	

健康状況

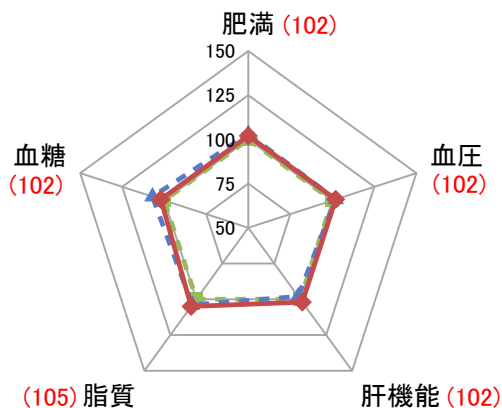
貴事業所の2020年度実績を100とした場合

総合判定



* 数値が高いほど、改善された状態

[貴事業所の2020年度実績: 100]



健康状況の経年変化

		2020	2021	2022	
肥満	貴事業所	100	103	102	😊
	業態平均	100	102	102	
血圧	貴事業所	100	102	102	😊
	業態平均	100	102	102	
肝機能	貴事業所	100	98	102	😊
	業態平均	100	98	102	
脂質	貴事業所	100	104	105	😊
	業態平均	100	104	105	
血糖	貴事業所	100	107	102	😊
	業態平均	100	107	102	

【コラム】適度な飲酒で健康な肝臓を！

飲酒習慣別に肝機能異常症のリスク保有者割合をみると、1回の飲酒量が「1合未満」では、肝機能異常症のリスク保有者割合は飲酒頻度によらずほぼ同程度です。

しかしながら、飲酒頻度が同じ場合、1回の飲酒量が多いほど肝機能異常症のリスク保有者割合は高くなり、1回の飲酒量が「1合未満」から「3合以上」に増加すると肝機能異常症のリスク保有者割合は「ほとんど飲まない」「時々」では約1.8倍に、「毎日」では約2.4倍に上昇します。

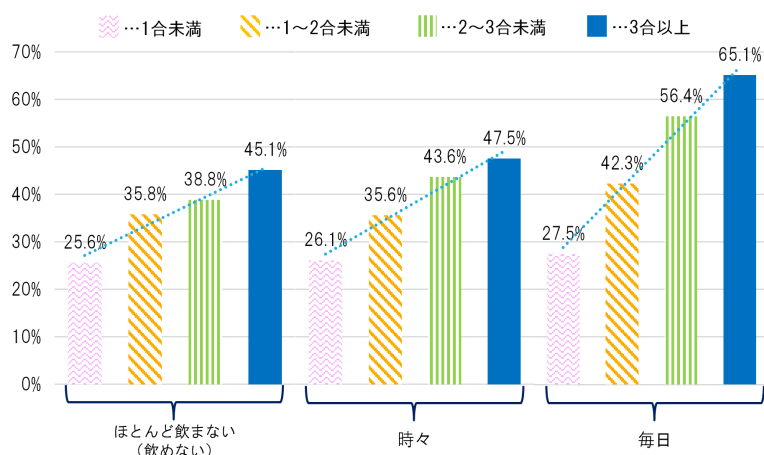
健康な肝臓を保つために、休肝日を作る、飲む量を1合減らす等、適度な飲酒習慣を心掛けるよう促しましょう。

※飲酒状況に関する質問票の全てに回答がある者のみを対象に算出

※2022年度報告(2021年度実績)データより算出

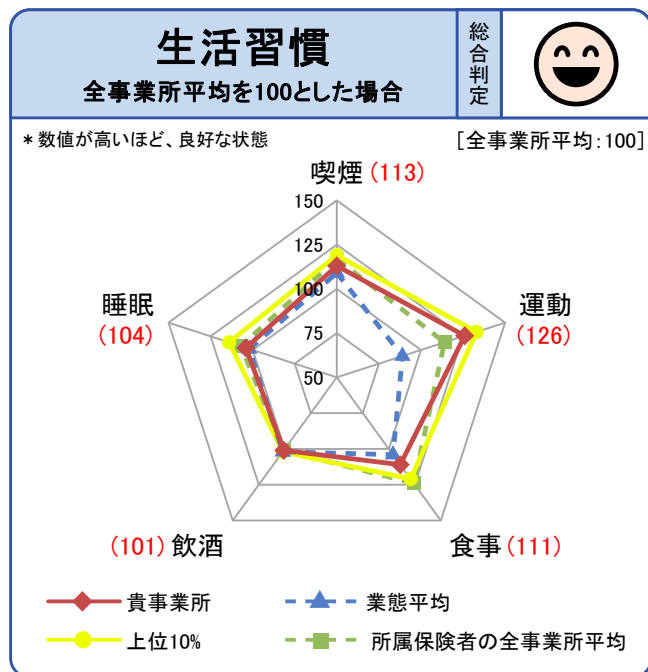
※肝機能異常症のリスク保有者…AST 31U/L以上、ALT 31U/L以上、 γ -GTP 51U/L以上のいずれかに該当する者(健康スコアリングレポートと同一の定義)

飲酒習慣別肝機能異常症リスク保有者割合(2021年度)



貴事業所の生活状況(適正な生活習慣を有する者の割合)

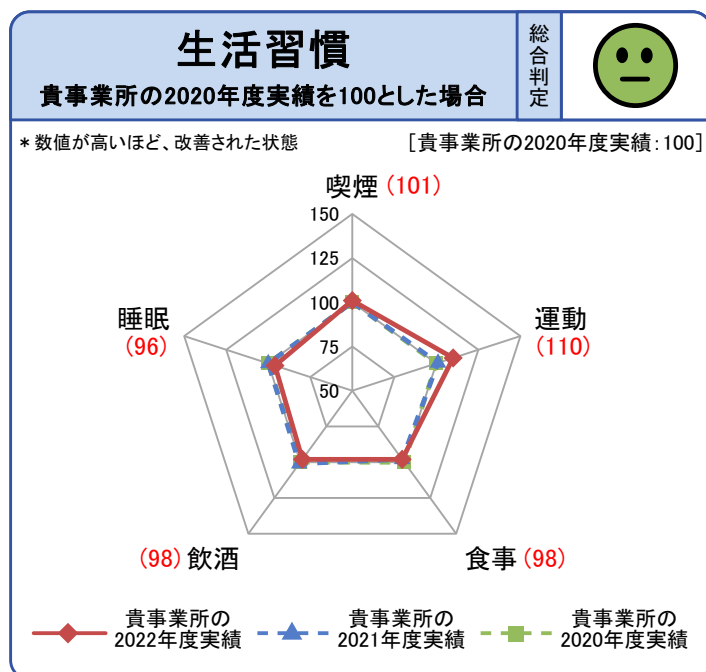
※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、事業所が保有しているデータのみで構成。



※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで (*)
喫煙	貴事業所	113	113	113	
	業態平均	110	110	109	 最上位です
	上位10%	119	119	119	
運動	貴事業所	124	121	126	 最上位です
	業態平均	92	89	89	
	上位10%	161	135	133	
食事	貴事業所	111	110	111	 あと 124人
	業態平均	104	105	104	
	上位10%	113	122	121	
飲酒	貴事業所	104	105	101	 あと 112人
	業態平均	102	101	102	
	上位10%	102	102	102	
睡眠	貴事業所	106	106	104	 あと 164人
	業態平均	102	102	102	
	上位10%	117	114	114	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」が上位10%に入る事業所の各項目の平均値を表す。ただし、業態内の事業所数が20以下の場合、全事業所の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
(*)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。



生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	
喫煙	貴事業所	100	100	101	
運動	貴事業所	100	101	110	
食事	貴事業所	100	98	98	
飲酒	貴事業所	100	101	98	
睡眠	貴事業所	100	100	96	

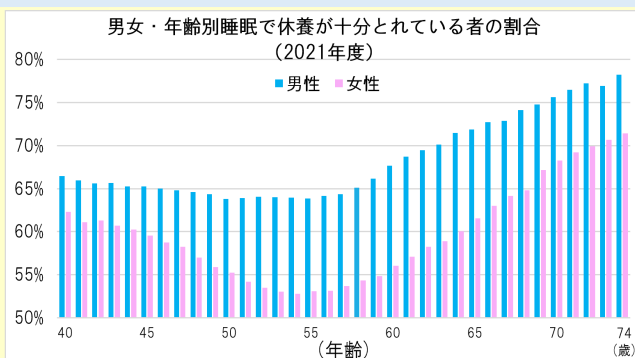
【コラム】生活習慣を見直し、睡眠で休養を十分とりましょう！

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出

※2022年度報告(2021年度実績)データより算出

※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数/特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数



(注)【本レポートにおけるデータ対象】

・特定健診(健康状況・生活習慣): 40歳~74歳の被保険者。

・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

健康状況・生活習慣は、対象となる被保険者数50名未満の場合「×」を表示。

健康スコアリングレポート

2023年度版

(2022年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省
